

104) 砂場

子供の頃よく泥んこ遊びをしたのでありますが、泥をこねていろいろな形のものを作って、それを砂の中に埋めて隠しておくことが、当時は流行ったのであります。荒川の河川敷の『荒木田』といわれる土で作ると、この土は粘土に近かったので、いろいろな形のもものが容易に作れたのであります。泥んこで車の形に似たもの、船の形に似たもの、時には葉子ちゃんの気を引くために人形なども作ったりして遊んだわけでありまして。砂に埋めておいたのは、そのほうが乾燥がゆっくりなので、形が崩れないという知恵者の忠告によるものでありましたが、確かに急激に乾燥させると、すぐにヒビ割れてしまうことが多かったのであります。しかしそれ以上に砂の中から掘り出すと、ちょっと宝探しに似た快感があったのであります。その日は数日前に葉子ちゃんのために作った人形を土の中から掘り出したのでありますが、どうも形が少し違うようなのであります。こんなものは作った覚えはないのだがと思って、よくよく砂を落としてみると、それは犬のでっかいウンチだったのであります。どうもウンチにはとかく縁があるようで、大変失礼いたしました。